

番組審議会

第642回

開催日 令和2年10月19日(月)

■委員の出席成
委員総数 10名
出席委員数 10名

出席者
委員長 音 好 宏
副委員長 中 江 有 里
委員 江 澤 佐知子 尾 縣 貢
萱 野 稔 人 喜田村 洋 一
佐 藤 智 恵 長 嶋 有
藤 原 帰 一 水無田 気 流

TBSテレビ 佐々木 社 長
渡 辺 常務取締役
伊佐野 常務取締役
岩 田 取締役
瀬戸口 編成局長
安 田 コンテンツ制作局長
中 川 コンテンツ制作局
バラエティ制作一部長
石 黒 プロデューサー
大 松 ディレクター
中 山 編成考査局長
鈴 木 編成考査局視聴者サービス部長
岩 村 番組審議会事務局長

■議事概要

(1) 審議事項

1) 「がちりマンデー!!」

9月20日(日) 7:30~8:00 放送分について

2) その他

(2) 報告事項

1) 番組種別公表制度に基づく4月から9月までの放送実績について

(3) 事務局報告事項

1) 視聴者からの声について

2) 次回審議会の議題及び日程について

【委員の主な意見】

(「がちりマンデー!!」について)

- 30分番組で企業を3社紹介するのが贅沢だと感じた。どの企業にも、納得や驚きのある技術があり、番組としては1社だけのネタで十分もつと思う。であるのに、贅沢に、駆け足でも感じさせず、物足りなさも感じさせないあたり、番組としてすごくこなれていると感じた。
- 一般的にはわかりにくい経済の話を、グラフィックやアニメーションなどを使って非常にわかりやすく伝えていた。「半沢直樹」でもそうだが、TBSは難しい経済の話題をわかりやすく伝えるのが本当にうまい。
- この番組を教養番組として高めてほしい。他の企業の人が、この中小企業の事例を見て、自分たちの企業にどう生かせるのかをもう少し伝えるといい。
- 司会の加藤浩次さんの役割が大きい。リアクションがやわらかくて、視聴者の疑問や視点をうまくナビゲートしている。
- 取りあげた企業を必要以上に褒めそやす雰囲気が全くなく、素直にすごさに感心できるところが、この番組の一番の特徴だと思う。

- 「儲かっていますか？」 「儲かっています！」 というやりとりが少し耳についた。何となく言わせ感が漂う。コロナで苦勞している人も多い中「儲かっていますか？」 「はい、儲かっています！」 というニュアンスは少し重たい感じがする。
- 「仕事をする」ということに意味、価値を見出せる番組だ。働く人たちを応援する内容になっていて、月曜日から働こうという意欲をかき立てられる。
- 会社の名前とつくっているものだけ並べると、面白い番組になりそうもないのに、視聴者の好奇心をうまく誘い、それに応えるというスタイルで成功している。
- 「儲かっている」ことを強調する点に、今までは違和感を持っていなかったが、コロナ禍の今年は少し違う感想を持った。頑張った努力が全く報われないことが多い現在のコロナ状況下で、もう少し違う、たとえば報われていない人に対して応援しつつも希望が持てるような伝え方もあると思う。「この人たちはすごく儲かっている」と見せつけられる気分になる人もいないか。そのことを少し危惧する。コンセプトを守ることは大事だが、今年はこれでいいのかなと正直思った。

* TBSでは番組審議会委員のご意見を真摯に受け止め、今後の番組内容の向上に活かしていく所存です。 (TBSテレビ番組審議会事務局)